

八街市総合計画 2025 前期基本計画（案）

に対する意見と市の考え方

対応項目

- A：意見を受けて加筆・修正したもの
 B：案に意見の考え方が概ね含まれていたもの
 C：案に意見の考え方が一部含まれていたもの
 D：案に意見の考え方を反映・修正しなかったもの
 E：その他の意見

番号	分類	意見の要旨	対応	市の考え方
1	P. 62～63 4. やちまた『八つの街づくり』宣言に基づく分野別計画 四の街 めざします！健やかに成長できる街 1. 生涯にわたる健康づくり	八街市に産院が無いため、隣の市などで妊婦検診、出産、その後の検診に行かないといけないため不便でした。妊婦健診はしてくれるところもありますが、結局出産は違う産院を探さないといけないうえ、妊婦健診から出産までできる産院を開院してください。	C	妊婦や子育て家庭への切れ目のないサポートを行う環境づくりに努めるとともに、出産や育児に関する不安の解消、子育てサービスや母子保健サービスを充実するなど、子どもたちの健やかな育ちを支援するため、基本目標のひとつに「結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍するまちづくり」と位置付け、重点施策として推進していく計画としております。産院の開院については、全国的な産科医不足や医師の働き方改革により非常に難しい状況となっておりますが、市民が安心して医療サービスを受けられるよう市医師会、医療機関などと連携し機会をとらえて誘致に取り組むと共に、産後ケアや幼児健康診査など妊婦支援の充実を図る計画としております。
2	P. 70～71 4. やちまた『八つの街づくり』宣言に基づく分野別計画 五の街 めざします！心の豊かさを感じる街	給食費無償化は、他の市では行っているところがあります。月々の給食費は決して安くはなく、物価高の今家計を圧迫しています。国が行うのを待つよりも、八街市独自で行ってくれることを願っています。	E	本市の学校給食費については、平成18年に改定し、また平成26年に消費税相当額分を見直しましたが、その後は、食材価格が上昇しているものの、公費を負担することにより、印旛管内の市町の中で、最も低い額を維持しております。また、令和5年4月から、第3子以降の学校給食費無償化を実施し、子どもの多い世帯の経済的負担の軽減を図っております。

	2. 学校教育の充実			今後も千葉県市長会及び千葉県市町村教育委員会連絡協議会を通じた給食費の無償化を要望するなど、様々な手法で保護者負担軽減に向けた取組を行ってまいります。
3	<p>P. 26～27</p> <p>4. やちまた『八つの街づくり』宣言に基づく分野別計画</p> <p>一の街 めざします！ 便利で快適な街</p> <p>1. 秩序ある土地利用</p>	<p>施策の指標の都市計画道路の整備率について、一旦完成してしまえば下がることはないため、数値以外では、「横ばい」か「上昇」しか選択肢がありません。ただ単に「上昇」とするのではなく、具体的な数値目標を記載してほしいと思います。</p> <p>当然、市だけで解決できる問題ではないとは思いますが、八街神門線など、既に着手している事業もありますので、それらが完成する前提の数値を入れてもよいのではないのでしょうか。</p> <p>P30の3. 道路の体系的整備内では、道路改良率のすばらしい目標値が明確に記載されています。</p> <p>八街市は、都市計画道路の整備も忘れてはいません、真剣に取り組んでいます、という意気込みがほしいです。目標値が不明確では、10年後、20年後に整備率が伸びませんでしたとなりかねません。</p> <p>インフラ整備をすること、それが新たな産業を呼び、ひいては市のさらなる発展につながるのではないかと考えます。</p>	A	施策の指標のめざそう値（2029年度）欄について、「%」を「16.8%」に変更いたしました。
4	<p>P. 52～53</p> <p>4. やちまた『八つの街づくり』宣言に基づく分野別計画</p> <p>三の街 めざします！ 豊かな自然と活気あふれる街</p>	<p>若者が市外に出る理由として、市内に遊べる場所がないからだと思えます。</p> <p>何か魅力のあるお店があるわけでもない。</p> <p>商業施設が新しくできたと思っても薬局ばかり。</p> <p>高齢者のための街になっているようにしか思えません。</p>	B	ご意見いただいた内容につきましては、前期基本計画（案）P53記載の各施策を商工会議所等と連携し、推進することで、市内商工業の振興を図るとともに、同P55記載の地域経済活性化施策を関係団体や民間施設と連携し、活性化を推進することで、若者から高齢者まで幅広い世代の方々に、魅力ある商業環境の創出に努めてまいります。

	2. まちの活力を生む商工業の推進			
5	<p>P. 64～65</p> <p>4. やちまた『八つの街づくり』宣言に基づく分野別計画</p> <p>四の街 めざします！健やかに成長できる街</p> <p>2. 笑顔あふれる子育てへの支援</p>	<p>子育て支援について住民税を払っている世帯だって毎日の生活に困っています。</p> <p>非課税の世帯だけじゃないんです。それもわかってくれないから子供も増えないし、産む人も減るんです。</p> <p>子供を育てるのには莫大なお金がかかります。</p> <p>市独自で策をもう少し考えてください。</p>	B	<p>本市は、家庭・養育環境支援の強化を図るため、令和8年度までに、こども家庭センターの開設を予定しており、すべての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機関を設立いたします。子育て世帯からの相談を通じて、本市の実情に即した政策を考えてまいります。</p>
6	その他	<p>総合計画 2025 前期基本計画は、5年となっているが、総合計画では中期・長期計画であり10年間と更にその先の本市の目指すビジョンを持って企画立案する必要があります。</p> <p>※現在の総合計画 2015 後期の立案時には、総合計画 2015 前期の当初が10年計画の立案の為、後期からの大幅な転換・軌道修正は困難との認識がされました。</p>	B	<p>本市の総合計画につきましては、10年間を計画期間とし、10年後の本市の姿を示す基本構想、その実現のために取組むべき施策を定める基本計画を前期と後期の各5年、各基本計画における施策を計画的に推進するために実施すべき事業を定めた実施計画の3層構造で策定しております。</p> <p>総合計画 2015 では、基本構想に施策の大綱が示されていることで、施策内容の転換等が困難なものとなっております。</p> <p>本計画より、施策の大綱を基本計画に集約することで、本市を取り巻く社会環境の変化により柔軟に対応できるように構成を変更しております。</p>
7	<p>P. 4～5</p> <p>2. 計画の進行管理</p>	<p>現在の総合計画 2015 後期基本計画5年間の中間見直しがされず置き去りとなっています。他の自治体（ex 富里市・・・）等は中間見直しを行い軌道修正し実行しています。本市も同様な運用の方法にしてください。</p>	B	<p>本市の総合計画につきましては、基本計画で示した施策を計画的に推進するために実施する事業を示した実施計画を基に基本計画の進行管理を実施しております。</p> <p>実施計画においても、指標を設定</p>

		<p>※山武市では、総合計画審議会を1年ごとに開催し行政評価を取り入れています（ローリング時期は複数回）。</p> <p>PDCA サイクルを回して各階層それぞれに、成果指標を設定し、数値で施策や事業の達成度を、分かりやすく「見える化」しています。</p>		<p>し、行政評価を行い、その結果を踏まえ、1年ごとのローリングによる事業の見直しを行っております。</p>
8	その他	<p>今回、一般市民へアトランダムなアンケート調査は実施済みですが、結果の公表がされていません。</p> <p>※市民の皆様から多くの意見を聞いて本計画策定に生かす必要があります。</p> <p>※現在の総合計画 2015 後期基本計画では、市民意識調査、まちづくり活動団体アンケート、区長アンケート、子育て世代アンケート、市民懇談会、新成人等多数の意見調査が実施されています。</p>	B	<p>市民の方への意見聴取につきましては、総合計画 2015 後期基本計画策定時に実施した市民意識調査をはじめとする各種アンケートや二十歳を祝う会実行委員と市長との懇談会を今回も行ってまいります。また、新たな取組みとして市民ワークショップを開催し、参加者が思い描く理想の八街市の姿について意見聴取を実施いたしました。</p> <p>これらの実施結果につきましては、今後ホームページ上にて公表を予定しております。</p>
9	その他	<p>多くの市町は、総合計画への思いを込めた首長の挨拶が掲載されているので、本市も掲載すること。</p>	E	<p>市長挨拶につきましては、総合計画冒頭にて掲載を予定しております。</p>
10	<p>P. 6～20</p> <p>3. 重点施策：第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略</p>	<p>第2次の取組み状況表の実績評価で施策の未達成 60%を重く受け止め課題に対し、要因分析の上、新たな施策（戦略）を企画立案すること。</p> <p>又、KPI（重要業績評価指標）の目標値には、傾向値（→↑）を使わず、裏付けを持った数値目標を設定すること。</p>	C	<p>第2次総合戦略の実績値については、多くの指標が人の行動に伴うものであったため、コロナ禍による影響を受けて、未達成になったものと分析しております。また、実施される事業については、行政評価を行うことで、事業の見直しを図っております。</p> <p>目標値の設定については、具体的な数値を設定できるものもあれば、社会状況などの外的要因の影響により設定が難しいものもあるため、柔軟な目標設定ができるよう傾向値を使用している指標もございます。</p>
11	<p>P. 16～17</p> <p>3. 重点施</p>	<p>基幹産業の農業や商業の政策は継続して行くのですが、最重要なの</p>	C	<p>企業誘致につきましては、本市でも成田国際空港の機能強化や、圏央道</p>

	<p>策：第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>基本目標3人と産業を育み、安定した雇用を創出するまちづくり</p>	<p>は、工業団地を造り企業誘致を積極的にすることで、雇用創出・人口増加・自主財政改善が期待されます。本市の都市計画（マスタープラン）の目標は、「定住促進と産業振興」と記載。2カ所の工業ゾーン①酒々井IC②山田IC付近が数十年前からの構想が示されていますが、遅々として具現化への取り組みがされていません。地方創生「まち・ひと・しごと」の中で、先ず最優先は雇用から始まるとも言われています。</p> <p>街づくりの維持発展には、企業誘致して財源確保・雇用創出が最も大事（企業城下町という自治体も多い）で未来への投資（戦略計画）に決断を強く要望致します。</p> <p>※本市には、高速道路のICは無いが、隣接する三か所のIC（酒々井、佐倉、山田）があり且つ、内陸部で強靱な地盤（裏付けも必要）等、立地的に恵まれているとも言える。又耕作放棄地、未耕作地も多く存在しています。又、成田空港の隣接地として千葉県企業局、NAAと連携の上、流通・加工基地等の工業団地（企業誘致）に取り組み街の発展を強く望みたい。</p> <p>※熊谷県知事は、まちづくりの第一歩は企業誘致し雇用創出・人口増加することと言っています。</p>	<p>など道路整備の進捗により、企業の進出意欲が高まっていると認識しております。</p> <p>そのため、各施策の実施にあたっては、千葉県など関係機関と連携のうえ、企業立地助成金制度などの活用について、積極的に周知を行うとともに、民間施設等と連携し、企業誘致の推進を図り、地域経済の活性化および雇用の創出に努めてまいります。</p>
12	<p>P. 16～17</p> <p>3. 重点施策：第3次まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>基本目標3人と産業を育み、安定した雇用を創出するまちづくり</p>	<p>市民の要望が強い「道の駅」開設は、本市の悲願でもあります。※全国1213カ所あります（R6.2月現在）。休憩機能、地域興し、災害時の避難場所（能登地震で証明）、兼業農家の収入（六次産業化）、地域連携（シティプロモーション）機能等の他、市民の賑やかさ（イベント）等にも活用できる施設です。</p>	<p>E</p> <p>「道の駅」建設につきましては、様々な課題があると考えておりますが、民間企業との連携など、様々な手法により、地域の特性を生かした地域産業の活性化の促進に努めてまいりたいと考えております。</p>

13	<p>P. 34～35</p> <p>4. やちまた『八つの街づくり』宣言に基づく分野別計画</p> <p>一の街 めざします！便利で快適な街</p> <p>5. 持続可能な下水道事業の推進</p>	<p>施策の指標の公共下水道整備率（汚水）について、「八街市印旛沼流域関連公共下水道全体計画」では、用途制限区域内 594ha＋用途制限区域外 436ha 合わせて 1030ha を長期計画しているため、区域内 594ha で整備率 85%、又全体計画の 44%と記載すること。今後、全体計画（R31 年度完了予定：総投資額 504 億円）をどの様に進めて行くのか検討が必要です。</p>	<p>D</p> <p>公共下水道整備率は、事業認可区域内における整備完了面積の比率となります。</p> <p>公共下水道は、全体計画区域内の事業認可区域内しか整備できませんので整備すべき区域内をどれだけ整備したかを明確にした指標と考えております。</p> <p>今後とも、下水道事業の経営状態や財政状態を見極めながら、住宅が密集し新規の下水道接続が見込まれる地域を中心に費用を投資し、収益が確保できるよう事業を進めてまいります。</p>
14	<p>P. 36～37</p> <p>4. やちまた『八つの街づくり』宣言に基づく分野別計画</p> <p>一の街 めざします！便利で快適な街</p> <p>6. 持続可能な上水道事業の推進</p>	<p>施策の指標について、</p> <p>①石綿セメント管更新（耐震化）率を明記</p> <p>※厚労省も耐震化率（R3 年度全国基幹管路；41.2%、千葉県：60.3%）を問題にしています。</p> <p>最重要事業である漏水の主原因は老朽化している石綿セメント管で更新（耐震化）事業は、H29 年度から R13 年度 15 年間で 44.8Km を施工する事業です。</p> <p>※千葉県全体の石綿セメント管残存率：2.5%、印旛ブロック：2.6%、八街市：28%となっています。</p> <p>本市は、資金確保されているにもかかわらず、H30 年～R4 年度 8Km の計画に対して 1.5Km しか進んでいません。原因はマンパワー不足と聞いているので他自治体の様に組織変更して建設部内に移し、上水道課、下水道課一体となって効率を上げること。</p> <p>②水道普及率を明記</p> <p>昨今の都市計画では水道完備は常識：公衆衛生の観点から安心、安全な飲料水（R3 年度日本全体：98%、千葉県 95%）本市は、53.3%と遅れているので、まずは、用途制限区域内は 100%完備。他の区域でも年次計画で継続的に進めてください。</p>	<p>D</p> <p>①については、漏水調査業務及び更新工事の進捗を図り、石綿セメント管の更新に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、組織変更につきましては、過去に水道課と下水道課の統合について検討し、実施には至りませんでした。今後も組織変更による事務の効率化に向けて検討し、石綿セメント管更新が進むよう努めてまいります。</p> <p>②については、未整備地域への水道管布設は多額の建設費用を要し、用途地域内にも未利用地や畑等が点在しておりますので、すべての土地に上水道を供給しての普及率向上は難しいと考えております。</p> <p>今後も水道事業の経営状態や財政状態を見極めながら、水道接続の効果の高い地域を中心に事業を進めてまいります。</p>

	<p>R5 年度の地下水水質検査結果(広報掲載) 市内 60 か所の内 18 か所で「硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素」基準値を超えている。</p> <p>※メトヘモグロビン血症を発症する原因、トロソ化合物という発癌性物質に変化する可能性が一部に指摘あり。</p>	
--	---	--